

## クレブテロール汚染豚肉事件のその後

中国で発生したクレブテロール汚染豚肉事件で、関与した7名の逮捕者に処分が下りました。そもそも中国国内で認められていない危険な筋肉増強剤を製造し、農場に販売して巨額の利益を得ていたという話は2009年くらいからあり、ようやく犯人が逮捕され裁判にかけられた模様です。主犯格とされる男は死刑、共犯の妻も9年の禁固刑でした。妻は男が作ったのクレブテロールを材料に飼料添加物を製造していたようです。当局の処分は見せしめかのようにかなり厳しく、他にも終身刑、禁固14年、15年、さらには3人の食品安全監視員まで含まれており、悪徳役人にもそれぞれ5~6年の禁固刑が言い渡されています。

問題になっているクレブテロールは、知る人ぞ知るボディビルダーの間でかなり隠密に使用されていた薬剤で人に有害なため世界中で使用制限されている危険な薬物（筋肉増強剤）です。毒性が強いものの、赤肉生産を高める効果は凄まじく、とんだ豚肉景気から増体向上を期待して大量に販売されていたようです。何せ死亡した豚まで市場に出回ってしまうほどの国ですから、その過熱ぶりは異常です。果たして中国最大級の食肉流通会社（Shuaghuai Group）の子会社も関与していたことも明らかになりました。実際に汚染豚肉が多くの小売店に販売され、回収騒ぎにまで発展したため、グループ会社のオーナーが謝罪会見も行なっています。

(Pork Progress より Aug. 12<sup>th</sup>. 2011)

2011年10月 グローバルピッグファーム(株)